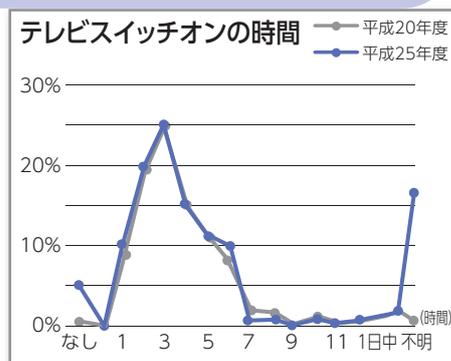
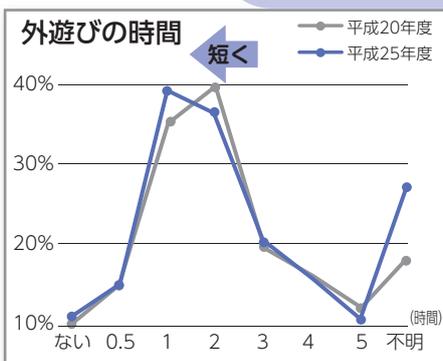
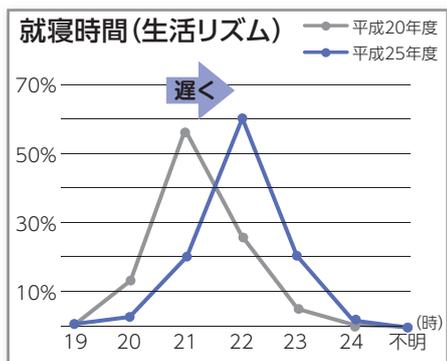


しおがまっこの 今ドキ子育て事情

平成20年度と平成25年度の
3歳児健診を比べてみたら…

保健センターでは、3歳児健診の問診結果を講演会や家庭訪問、育児相談会などで生かしています。また、各保育所の先生から聞いた話の中で、親子の変化が見られます。今ドキの親子に、一体何が起きているのでしょうか。

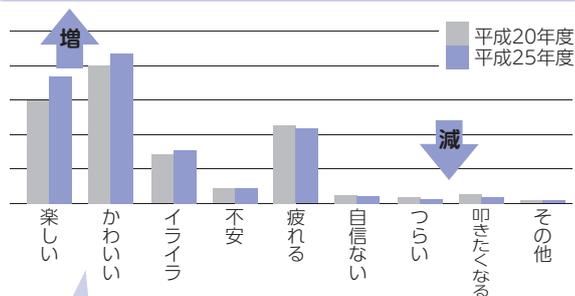
生活リズムは、夜の就寝時間が全体的に遅くなっています。お仕事や家事が忙しく、ママやパパは一人でがんばりすぎていませんか？
外遊びの時間は、やや減少。家の中などで、一人で遊べる遊びが増えています。
テレビスイッチオンの時間は変わりませんでした。



テレビよりも携帯電話やスマートフォン、タブレットが普及しているのでしょうか。
外遊びが減ったことからか、ブランコがこげない子、ジャングルジムにのぼれない子、転んだ時に手につかない子など、体の軸（体幹）が鍛えられていない子が増えているようです。

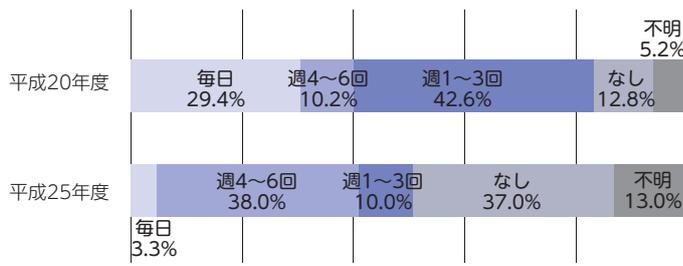


育児中のママの気持ちは「楽しい」「かわいい」が増加。「叩きたくなる」「つらい」は減少。



しおがまっこのママたちは、「楽しい」「かわいい」と感じながら育児をしています。6割弱は就労していて、帰宅時間は18～19時台が約9割。忙しい中でもよく頑張っています。でも、育児中は、イライラしたりつらい日もあって当然。ひとりでがんばらず、いつでも周りにSOSを出してくださいね。

お父さんの育児頻度は、全体的に減少しています。平成20年度は「毎日」「週1～3日」が多数。平成25年度は「週4～6日」「なし」が多数。



3歳児健診では、パパの育児頻度が減少しています。背景には、雇用の形態が変わったり、子どもとの遊び方や関わり方にとまどっているのかもしれませんが。ママのお話を聞くことも、育児のひとつですよ。



これらの結果から、元気なしおがまっこを育てるためにパパやママたちと一緒に子どもの生活リズムを整え、体を使ったふれあい遊び、パパとの遊びなどに取り組んでいきます。

子育ては大仕事。とても一人ではできません。地域にとって、パパもママも子どもたちも大切な宝です。地域や保健センターみんなで応援していきます。

問 保健センター ☎ 364-4786